

eMAXIS 最適化バランス リバランスレポート

情報提供資料

2017年2月

eMAXIS 最適化バランス

(マイゴールキーパー/マイディフェンダー/マイミッドフィルダー/マイフォワード/マイストライカー)

最適化バランス指数の資産クラス別比率が変更されました

リバランスとは何ですか？

リバランスとは、現在の資産クラス別比率を目標とする比率に調整することをいいます。eMAXIS 最適化バランスが連動することを旨とする「最適化バランス指数」は、目標リスク水準に沿うように年1回資産クラス別比率を変更します。(各目標リスク水準に対してリターンが最大化されるよう資産クラス別比率を決定)。したがって、eMAXIS 最適化バランスにご投資いただいたお客さまは、自ら見直しをせずとも、目標リスク水準を目指した運用を手間なく継続していただくことが可能です。

調整後の資産クラス別比率はどうなりましたか？

最適化バランス指数の資産クラス別比率(2017年1月末現在)については、以下をご覧ください。



	最適化バランス(6%)指数 <マイゴールキーパー>	最適化バランス(9%)指数 <マイディフェンダー>	最適化バランス(12%)指数 <マイミッドフィルダー>	最適化バランス(16%)指数 <マイフォワード>	最適化バランス(20%)指数 <マイストライカー>
リバランス後の比率(%)					
比率の増減(%)					
国内株式	-	-	-	+1	-
先進国株式	+1	+1	+1	+1	-
新興国株式	-	-	-	-	-
国内債券	-	-	-	-	-
先進国債券	-1	-1	-1	-2	-
新興国債券	-	-	-	-	-
国内リート	-	-	-	-	-
先進国リート	-	-	-	-	-

■ 国内株式 ■ 先進国株式 ■ 新興国株式 ■ 国内債券 ■ 先進国債券 ■ 新興国債券 ■ 国内リート ■ 先進国リート

・<>内は各指数に連動をめざすファンド名です。

～最適化バランス指数を算出している、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンからのコメント～

2016年12月までのデータを用いて各資産クラスの推計リスク(標準偏差)を算出したところ、新興国株式、新興国債券、国内リート、先進国リートの資産クラスでやや低下し、これにより各最適化バランス指数の推計リスクも低下しました。

各最適化バランス指数の推計リスクを目標水準にするため、マイストライカー以外の指数において先進国株式の組入比率を増やし、先進国債券の組入比率を減らしました。

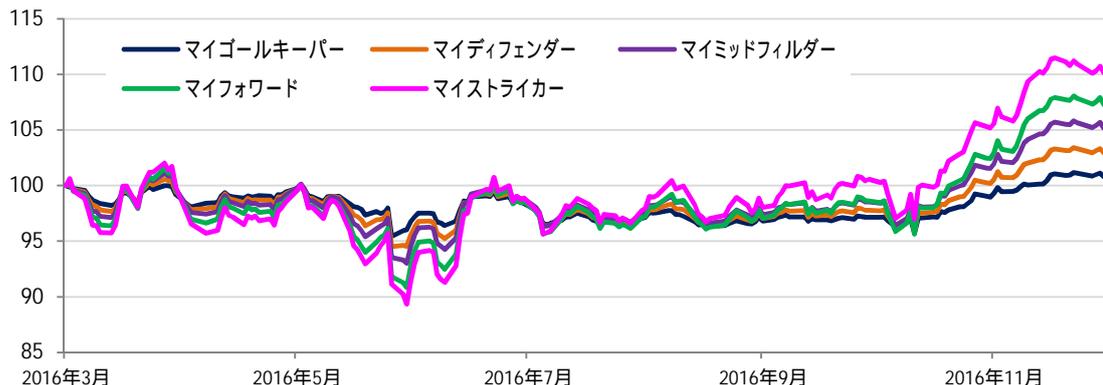
ご提示するモデルポートフォリオ(資産配分案)はイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが実証分析に基づき研究結果を活用して策定したものです。その正確性、完全性を保証するものではありません。

巻末の「本資料に関してご留意いただきたい事項」を必ずご覧ください。

eMAXIS 最適化バランス について

〔ご参考：各ファンドの基準価額（分配金再投資）の推移〕

（期間：2016年3月30日～2016年12月30日）



・上記グラフは、2016年3月30日を100として指数化しています。

・基準価額（分配金再投資）は、信託報酬控除後の値です。

・信託報酬率については、後記の「ファンド費用」に記載しています。

・左記は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

ファンドの目的・特色

<ファンドの目的>

日本を含む世界各国の株式、公社債および不動産投資信託証券市場の値動きに連動する投資成果をめざします。

<ファンドの特色>

イボットソン・アソシエイツ・ジャパンが算出する最適化バランス指数に連動する投資成果をめざして運用を行います。

最適化バランス指数は、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがeMAXISシリーズのファンドを参照して算出する指数であり、5つの目標リスク水準別指数の総称です。目標リスク水準別の指数は、eMAXISシリーズにおける各ファンドのベンチマークの長期間にわたるデータを用いて期待収益率、リスク（標準偏差）等をそれぞれ推計した上で最適化（目標リスク水準に対してリターンが最大化される）を行い決定される資産クラス別比率に応じて、eMAXISシリーズのファンドの基準価額（分配金再投資）の騰落率を乗じることで算出されます。そのため、ファンド名につきましても「最適化バランス」という名称を付与しております。

なお、各指数の資産クラス別比率の決定は、原則として年1回行います。

各マザーファンド等を通じて、日本を含む世界各国の株式、公社債（マイゴールキーパーは、新興国株式、新興国債券を除く）および不動産投資信託証券に実質的な投資を行います。

原則として、為替ヘッジは行いません。

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、株式・リート市場の相場変動による組入株式・リートの価格変動、金利変動による組入公社債の価格変動、為替相場の変動等による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金とは異なります。主な変動要因とは、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリー・リスクです。上記は主なりスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ファンドの費用

購入時	購入時手数料	ありません
保有期間中	運用管理費用（信託報酬）	日々の純資産総額に対して、年率0.54%（税抜年率0.50%）をかけた額 上場投資信託（リート）は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。
	その他の費用・手数料	監査費用、売買委託手数料、外国での資産の保管に要する費用、マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額、その他事務処理にかかる諸費用等を信託財産からご負担いただきます。これらの費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。
換金時	信託財産留保額	マイゴールキーパー ありません。 マイディフェンダー/マイミッドフィルダー 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.05%をかけた額 マイフォワード/マイストライカー 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.10%をかけた額

上記の費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

<課税関係> 課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人投資者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】

本資料は三菱UFJ国際投信が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡りする最新の投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

設定・運用は **三菱UFJ国際投信**

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

eMAXIS 最適化バランスについて詳しくはこちらから

<http://portstation.emaxis.jp/report/>

